

E1A 新名神高速道路(八幡京田辺 JCT・IC～高槻 JCT・IC 間)連絡調整会議(第 3 回)  
議事概要

1. 日時: 令和 6 年 12 月 24 日(火曜) 10:00 ～ 11:00

2. 出席者:

近畿地方整備局 道路部

近畿地方整備局 大阪国道事務所

京都府 建設交通部

大阪府 都市整備部

八幡市 建設産業部

枚方市 土木部

高槻市 都市創造部

西日本高速道路株式会社 関西支社 建設事業部

西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪東事務所

西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪西事務所

3. 議事:

(1)新名神高速道路(八幡京田辺 JCT・IC～高槻 JCT・IC 間)の概要

(2)新名神高速道路(八幡京田辺 JCT・IC～高槻 JCT・IC 間)の進捗状況と課題

(3)意見交換

4. 議事概要

(西日本高速道路株より説明)

○八幡京田辺 JCT・IC～高槻 JCT・IC 間の延長 10.7kmにおいて事業中。

当該区間は、土工区間が約 2 割、トンネル区間が約 4 割、橋梁区間も約 4 割と構造物比率が高い。枚方市域では周辺に工場や住宅が連なる中、大規模な橋梁やトンネル工事を推進中。また、高槻市域では、名神高速道路、国道 171 号をはじめ、東海道新幹線、JR 京都線および阪急京都線の上空を横過する大規模な橋梁工事を推進中。

○高槻 JCT の一部で用地取得に時間を要しており、工事が未着手の状況。

○過去に発生した鉄道事業及び道路事業のシールドトンネル工事による地表面陥没事故を受けて行われた有識者によるシールドトンネル施工技術検討会において、「シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン」が令和3年12月に策定。枚方トンネルでは、ガイドラインに基づき、地質調査および泥土圧部が所定の塑性流動性と止水性を満足する配合を確認する試験など、追加の検討を実施。配合試験の結果、適切な性状を確保するための添加剤の見直しおよび流動化させた土砂を有効利用するための改質剤の追加により、坑外に設置する改質設備の追加やトンネル掘削に伴う発生土が大幅に増加（約195万 $\text{m}^3$ →約270万 $\text{m}^3$ ）することによる発生土の搬出先の確保が必要。追加の検討および検討結果に基づく坑外設備の追加により時間を要していますが、現在、トンネルの掘削開始に向けて、シールドマシン組み立ておよび坑外設備の設置工事を実施中。

○高槻高架橋は、名神高速道路、国道171号をはじめ、東海道新幹線、JR京都線および阪急京都線といった重要交差物があるほか、住宅が密集しており、狭小な施工ヤードの中、下部工および上部工の工事を推進中。現在、国道171号上空の橋桁の架設が完了しており、引き続き、その他重要交差物上空の上部工架設に向けて関係機関との協議・調整を実施中。鉄道上空は、夜間で一日の作業時間も限られていることから、橋桁の架設が完了した区間を活用し、組立てた橋桁を送り出し、この作業を繰り返し行いながら架設を行う計画。

○八幡京田辺 JCT・IC～高槻 JCT・IC 間については、工事の進捗に伴う新たな事象に対応しながら、全線にわたって工事を推進しています。今後、枚方トンネルの掘削にあたっては、地域住民の安心を確保するため、地盤変位、騒音、振動等について定期的にモニタリングを実施し、適切に情報提供を行いながら細心の注意を払って慎重に掘削工事を進めて参ります。引き続き、周辺環境および工事の安全を最優先に事業を推進して参りますので、ご理解・ご協力をお願い致します。

（意見交換）

○新名神事業の沿線では開通目標を前提としたまちづくりをしていることも多く、地域の経済に大きく寄与していることから、着実な整備をお願いします。

○都市計画道路内里高野道線事業など、新名神関連事業と引き続き緊密な調整をお願いします。

○今後も適宜、工事進捗の情報共有をお願いします。また、工事の実施にあたり、地域と上手くコミュニケーションをとり、安全第一に工事を進めていただきたい。

○開通目標である令和9年度末まで残り約3年だが、工事中事故が発生すると工事工程に影響するため、安全第一に工事を進めていただきたい。